



HISTOFINE

\*\*2013年 4月改訂(第3版)

\*2006年 4月改訂(第2版)

2005年 12月作成

体外診断用医薬品

\*クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ  
ヒストファイン SAB-PO(R)キット  
α-フェトプロテイン (AFP)

第一抗体

抗α-フェトプロテインポリクローナル抗体

(動物種：ウサギ)

包装：50テスト(6mL)

Code：422211

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

\*■本品は、クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ ヒストファイン SAB-PO(R)キットの構成試薬 第一抗体である。

\*■本品を使用する際は、ヒストファイン SAB-PO(R)キットの添付文書をよく読んで使用すること。

■特異性および抗原分布：ヒトα-フェトプロテイン(AFP)と特異的に反応する。AFPはヒトの胎児の卵黄嚢、胎児肝および腸管の細胞で生成される糖タンパク質である。

■製法：ヒトの臍帯血血清から精製したα-フェトプロテインを免疫したウサギ血清より精製している。

#### 1. 内容

第一抗体・・・抗α-フェトプロテインポリクローナル抗体(動物種：ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6mLを含む。

#### \*\*2. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を2滴(100μL)滴下し、常温(15-25℃)で30分~1時間インキュベートする。\*\*

また、組織の固定条件等により4℃、一晩のインキュベートで良好な染色が得られる場合もある。

#### 3. 貯法

2-8℃保存。

#### 4. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

#### 5. 主要文献

(1) Peyrol, S. et al: Digestion 18: 351, 1978

(2) Tsung, S.H.: Arch. Pathol. Lab. Med. 101: 572, 1977

(3) MacDonald et al: Clin Chim Acta 87: 367, 1978

(4) Jacobson et al: Am J Surg Pathol 5: 257, 1981